

10年後の未来、そして人生で一番の宝物である家族へ

中央農業グリーン専門学校 1年 戸部 隼勢

十年後の僕へ。元気にしていますか。結婚して家族を作りましたか。自分の未来のことを想像することなんて全く考えていなかったので、書くことが少し変になってしまいましたが、自分がもし、結婚していたら、「すごい」と驚いてしまうかもしれません。大人になっても、仕事のことだけではなく、奥さんや子供たちをしっかりと養っていますか。子供の育てては非常に難しいことでもあるので、しっかりと子育てをやっているかどうかを考えると、「ちゃんと叱って、時にはほめたりできる父親になっているんだろうか」と山ほど悩むこともあるでしょう。

子供たちはやんちゃざかりで心が強い兄弟か、それとも、おとなしくてしっかりとした姉妹の場合のことでも考えられますが、そんな子供たちに絶対に守ってほしい約束があります。一つ目は誰に対しても優しく接して欲しいことです。他人や友人、家族に対しても、優しく接すれば、人は心を開き悩みや嬉しかったこと、悲しかったことを共有できるようになります。また、自ら心配りをすることで、人として好感が持てるようになり、自分の存在を認めてくれるようになります。ですので、「優しさ」は絶対に必要なことだと理解して欲しいです。二つ目は人をいじめないことです。世の中には必ず自分の存在を嫌う人たちがいます。しかし、例えいじめられていたとしても、いじめている人と嫌でもお互い付き合うように向き合わなければなりません。そうした時は最初のうちはじつといじめている人の前ではなるべく笑顔でいて、いじめがエスカレートするようであれば、話しづらいと思いますが、素直に話してください。そうすれば家族や友人は話に寄り添えることで苦しみを和らげる時もあるので、泣いてでも良いので、素直に話してください。また、自分がいじめている側にいたとしても、いじめられている人の気持ちや人柄を理解していないことと同じです。人には誰だって長所があるので、人をいじめることは悪いことばかりのことなので、絶対にやっつけてはいけません。

僕は父親に例えなつたとしても、まだまだ青二才なので、妻や子供たちに多くの迷惑をかけてしまうかもしれません。少しでも子供たちのお手本になるようにやっていきたいですし、奥さんに対しては、家の手伝いをしっかりとやって、奥さんの苦勞を少しでも軽くして、支えてやってください。